

## どうせ1999年に 死ぬのなら好きな事を

私はいま、大きくは2つの事業をしています。

1つ目が健康診断に関する事業、この健康診断も2種類あり、出張して健康診断を行う「巡回健診」と、完全予約制来店型で健康診断を行う「施設健診」にわかれます。そしてもう1つが、介護サービス付き高齢者向け住宅と通所介護施設になります。健康診断のなかの巡回健診については、「巡回移動式検診システム」として人間ドックを巡回健診で実施する特許を取得し、「バスドック」として商標登録を取得しています。バスドックの健診チームは通常9人。医師・看護師・臨床検査技師・放射線技師などから構成されていて、事業所を訪問して社屋やバス内で健康診断を行う仕組みです。職場で人間ドック健診を実施するため病院やクリニックに行く移動時間を節約することが可能になり、働く皆様の時間当たりの生産性ロスを最小限におさえることができるので非常に喜ばれています。この巡回バスドックのアイデアもそうですが、私たちが手がけるサービスや試みは「はじめて」ということが多いのです。日本医科大学と連携して、血液データの男女・年代別判定基準を導入したのもそうです。60歳代と20歳代では、同じ判定基準を適用するわけにはいきません、これは世界でもはじめての取り組みでしたが、前例や習慣にとらわれない取り組みをすることを大事にしています。

医療に携わっているので、ずっとこの世界で生きていこうと思っている方もいるのですが、そんなことはありません。実はもともとバンドマンです、中学生のころから音楽が大好きでミュージシャンになるのが夢でした、とにかく好きな道を進もうと思ったのがノストラダムスの大予言です。1999年に地球が滅亡するという予言を私は真剣に信じていました。どうせ1999年に死ぬのなら好きな事を思いきりやろう！と思ったのです。まわりがみんな一流大学に行くような進学校に通っていたのです

が、受験勉強なんてやっている暇はどこにもないと、ひたすら音楽に没頭する高校時代を過ごしました。そして18歳のときにたまたま声をかけてくれた事務所があり、そこに入りました。って聞くとスゲーって思われるかもしれませんが、事務所にも大手から弱小まで色々あって、弱小事務所では当然給料もありません。誰もが知っている事務所なんてほんとに握りの世界、結局そこから色々な事務所を転々として27歳のときにようやくメジャーデビューをはたしアルバムを出す事ができました。

しかしこのデビュー時点で、自分の中ではもうやるだけやったという感覚になっていました。将来への夢と希望だけでバンド活動をやっていったのですが、だんだんと現実がわかってくると思えかたも変わってきます、メジャーデビューしてもそのあと売れる人なんてほんの一握りに過ぎません。しかも業界の色々なものを見て、疲れてしまった所もあります。高校の同級生

